

○遠野の駒形神社

古来の馬産地・遠野のいろいろな場所に駒形神社が鎮座しています。駒形神社は「お駒さま」あるいは「葦毛四白の馬」の意をもつ「お蒼前さま」と呼ばれ、霊異あるものとして多くの人々の信仰を集めてきました。



遠野で最も賑わったという荒川駒形神社(附馬牛)

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.78

2023年5月1日

○上郷駒形神社と義経伝説

遠野の駒形神社の中には、源義経の愛馬・小黒号に関する言い伝えがある神社があります。源平合戦の後、兄頼朝に追われて奥州に逃れた義経は衣川で自刃したと言われていますが、この時に亡くなったのは義経の身代わりになった家臣で、義経は衣川の戦いの前に密かに平泉を発って北を目指したというのです。その途中、義経は遠野上郷町と気仙沼住田町の境にある赤羽根峠を越える際に愛馬・小黒を亡くしたため祠を建てて弔いました。それが現在上郷町板沢にある駒形神社(写真右)の由来になっています。小黒を失って遠野を後にした義経は、三陸を抜けて青森から北海道、さらに大陸へ渡ったとされています。(義経北行伝説)

小黒号の伝説は小友町鷹鳥屋小黒沢にも伝わっており、伊豆権現神社の境内に小黒の碑が残っています。(「遠野馬通信 NO.8」に掲載)



○附馬牛に多い駒形神社



遠野の中でも附馬牛町は駒形神社が多い地域です。特に阿曾沼氏時代に馬の神として蒼前駒形神社を祀ったのが始まりとされる荒川駒形神社は遠野で一番賑わった神社といわれ、現在でも例祭の時には獅子踊りが奉納され参詣人が集まります。そのほか附馬牛には荒屋、桑原、小出、そして大出の早池峰神社境内に駒形神社が鎮座します。今後は遠野市内の駒形神社を随時ご紹介していきたいと思います。

写真左：荒川駒形神社の御札

(参考文献：「馬とくらし」遠野市立博物館)

*** 荒川駒形神社例祭が2023年5月27日(土)に行われます。**